★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

小松ＳＳＨだより

第５号　H18.9.28
編集:SSH推進委員会
発行責任者:栖川成人

石川県立小松高等学校

★★★★★★　科学的探究力、人間力、自己表現力、国際感覚の育成をめざす　★★★★★★

第1回SSH運営指導委員会

日　時：　８月２８日（月）　15:00～17:00
場　所：　本校大会議室

８月28日、第1回SSH石川県運営指導委員会が開かれた。9名の外部委員と16名の学校側委員が出席し、これまでの取り組みと今後の計画について活発な意見が交わされた。

最初に石川県教育委員会学校指導課担当課長の表純一氏と栖川校長が挨拶をし、その後は座長に選任された金沢大学副学長の長野勇氏の司会で会が進行した。

先ず、SSH推進室長の板東教諭が動画や静止画を盛り込んだパワーポイントを駆使し、SSH事業概要と本年度事業について説明した。

外部委員からは本校の取り組みについて好意的な意見が多く出された。とりわけ、分かり易く設定された3年間の概念図、小・中学校及び大学との連携、国際性を意識したプログラムなどが高く評価され、大学の先生からは「参考になる点が多々ある」との声も出た。

同時に、いろいろな提言もあった。例えば、「取り組みの目標を数値化させるなど、評価の尺度が必要である」といった発言もあった。その他の印象的な意見としては、「もの作りの面白さを身体で体験することが大切」、「社会と自分たちの営みを結びつけて、世の中の役に立つということを根っこに置く教育が必要」などが出され、また、「SSHで仕事量が多くなると思うが、多忙にならないように気を付けて欲しい」といった、担当者を気遣う声も出た。

当日出席した外部委員は以下の通り。（敬称略）
・長野　勇（金沢大学副学長）　・中西　孝（金沢大学教授）
・山部　昌（金沢工業大学教授）　・小野　寛晰（北陸先端科学技術大学院大学副学長）
・中山　賢一（小松精練株式会社社長）　・春木　俊一（小松市御幸中学校校長）
・小池田　修（石川県教育センター所長）
・表　純一（石川県教育委員会学校指導課担当課長）
　［浅田　秀雄（石川県教育委員会学校指導課課長）代理］
・橋場　真一（石川県教育委員会学校指導課　指導主事）
　※森　俊偉氏（金沢工業大学教授）は所用のため欠席

第2回運営指導委員会は2月下旬に行われる予定である。

「科学わくわく広場」で小学生を科学の世界へ

日時：9 月 9 日(土)、10 日(日)
場所：小松市市民ｷﾞｬﾗﾘｰ･ﾙﾌﾚ
主催：小松市教育委員会
内容：きれいな色のスライムを作ろう
　　カライドサイクル作り

小松高校の理化部、生物部の生徒１４人が小学生を対象に実験や実習の指導を行った。

《生徒の感想》

●いつもであれば、実験の手順が書いてある紙を見ながら実験をする僕が、今回は教える側だった。小学生相手ということでいくつか不安もあったが、何とかうまくでき、教えることもやはり面白いと感じた。また機会があれば、参加してみたい。

●初めは、たくさんの数の小学生を前にして緊張したが、教え始めるとしだいに緊張も解け、みんなも真剣に聞いてくれたのでやりやすかった。

どの子もよく質問してくれるので休む間もなく教えていたが、疲れではなく達成感が感じられた。

〈スライム作り〉

〈カライドサイクル作り〉

数学スーパーゼミ

１年理数科に学校設定科目「数学スーパーゼミ」があります。１学期は高校数学の基礎充実を中心に学習を進めてきましたが 9 月より少人数によるゼミを開講しました。各ゼミとも 10 人のグループに分かれて行います。ものを使っての体験や手作業などの活動をしながら考えを深めていこうというものです。

各ゼミの担当者と使用教室（授業は毎週火曜日5限）

	担当者	使用教室	授業に必要なもの
Kゼミ	川崎先生	18H	コンパス
Bゼミ	板東先生	小講義室 G	トランプ
Oゼミ	大島先生	情報室	特になし後で電卓
＃ゼミ	大井先生	化学講義室	特になし

★各ゼミのテーマ紹介★
Ｋゼミ：多面体を使ってサッカーボールを作ってみよう
Ｂゼミ：トランプの切り方に数学的な考察をしよう
Ｏゼミ：暗号についての基礎から自分で暗号を作ってみよう
＃ゼミ：三山崩しのゲームについてその必勝法を見つけよう

〈Ｋゼミ〉

〈Ｂゼミ〉

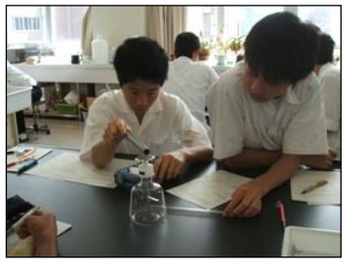
〈Ｏゼミ〉

〈＃ゼミ〉

スーパーときめきサイエンス物理

２学期は，「自然の不思議を探る」ということで，「雷」，「雪と氷」，「光の不思議」の３つのテーマについて学習します。また，これらにあわせて２つの特別講義を開催します。１回目は９月２９日（金）の「中谷宇吉郎と雪の結晶」（講師：雪の科学館館長　神田健三先生），２回目は１０月２５日（水）の「雷と友達になろう」（講師：金沢工業大学教授　饗庭貢先生）です。

なお，９月～１０月にかけては，主に雷に関することを学習します。北陸地方は冬に雷が多く発生するという特徴を持った地域であることを知り，雷の発生メカニズムについて学びます。また，雷の正体である静電気について実験をしながら学習します。


〈スーパーときめきサイエンス物理の授業風景〉